

# 令和4年度 事業報告

## 〈令和4年度西区社会福祉協議会の取組〉

令和4年度も引き続き新型コロナウイルス感染症により、活動の休止や縮小を余儀なくされました。しかしながら、このような状況でも「新しい生活様式」を取り入れ、「今できる形の活動」として創意工夫しながら活動を再開した地域の団体やボランティア活動グループもありました。また、人と人との繋がりが薄れていく中、生活に関する不安や長期化する自粛生活等から困りごとが声として上がるようになり、心身機能の低下や継続的な世帯の貧困など、これまでは見えてこなかった課題が表面化してきています。

西区社協では、この顕在化した区内の生活課題を捉えるとともに、地域で取り組まれている見守り活動や支えあい活動の在り方を検討し、生活支援体制整備事業や生活困窮者への対応等に積極的に取り組みました。

各分科会の開催や研修会、講演会等につきましても感染拡大防止のためオンラインで開催するなど、情報発信の工夫に努めました。区社協の強みを活かし、各分科会を通じて共通課題に対する検討や第4期地域福祉保健計画の具体的な取組について検討しました。

## I 地域における支え合いの仕組みづくりの支援（重点項目）

### 1 生活支援体制整備事業の推進

地域包括ケアシステムの構築に向け、区役所や地域ケアプラザとともに、「誰もが住み慣れた地域で生きがいや役割を持ちながらいきいきと暮らし続けられるよう、地域、NPO、社会福祉法人、民間企業等の多様な主体が連携・協力する地域づくり」を目指しました。

#### (1) 第2層生活支援コーディネーターとの連携及び支援

##### ①西区生活支援コーディネーター連絡会の開催

多様な主体が連携・協力する地域づくりを推進するため、連絡会を開催し、区域での連携した地域づくりに向けた取組の検討や情報交換、学習会を行いました。

開催数：全12回／毎月1回 原則第2水曜日

参加者：第2層生活支援コーディネーター（地域ケアプラザ）、第1層生活支援コーディネーター（区社協）、区地域包括ケア推進担当係長、区社協体制整備事業担当職員、区役所体制整備事業担当職員

月日	内容	参加者数
4月18日(月)	・R4年度生活支援体制整備事業重点取組事項について ・取組シート(目標)・取組メモのあり方について ・R4年度取組について ・検索ナビの活用・動画作成について ・2層 Co.連絡会の持ち方について ・スマホ講座協力依頼・進捗共有(年度内随時) ・市推進会議報告、各地域ケアプラザの取組共有 他	10名
5月20日(金)	・西区アクションプランについて(共有) ・体制整備事業の普及啓発について ・検索ナビの活用・啓発について ・サービスB(訪問はっぴいさん)活動支援について ・市推進会議報告、各地域ケアプラザの取組共有 他	8名

6月13日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体制整備事業の普及啓発について(継続)</li> <li>・事例検討会① テーマ:課題解決策を実行に移すにあたり、次の展開へ向けて必要なこと</li> <li>・動画作成研修</li> <li>・市推進会議報告、各地域ケアプラザの取組共有 他</li> </ul>	9名
7月13日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西区シニアクラブ友愛活動勉強会について</li> <li>・集合住宅の見守りについて</li> <li>・伝達研修「体制整備事業研修～お宝探しから始まる地域づくり～」 「Ayamu 研修報告」</li> <li>・協議体について(協議体の考え方、概要書の書き方等)</li> <li>・体制整備事業の普及啓発について</li> <li>・市推進会議報告、各地域ケアプラザの取組共有 他</li> </ul>	11名
8月10日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス B の普及啓発・利用促進について</li> <li>・事例検討会② テーマ:買い物支援の取組をどう進めるか</li> <li>・伝達研修「体制整備事業研修～地域における見守り～」 「SC カフェ～移動支援～」</li> </ul>	9名
9月12日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな担い手による活動の活性化に関する調査について</li> <li>・サービス B の普及啓発・利用促進について</li> <li>・アセスメントとその活用 “ゴールとプロセスの見える化” ①アセスメントの目的</li> <li>・市推進会議報告、各地域ケアプラザの取組共有 他</li> </ul>	10名
10月12日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パネル展について</li> <li>・サービス B の普及啓発・利用促進について</li> <li>・集合住宅の見守りについて</li> <li>・市推進会議報告、各地域ケアプラザの取組共有 他</li> </ul>	11名
11月9日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集合住宅の見守りについて</li> <li>・検索ナビへの動画 UP について</li> <li>・地域センター会議について</li> <li>・事例検討会③ テーマ:住民主体の取組に向けて</li> <li>・アセスメントとその活用 “ゴールとプロセスの見える化” ②アセスメントの目的2</li> <li>・市推進会議報告、各地域ケアプラザの取組共有 他</li> </ul>	9名
12月16日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度介護予防事業計画について</li> <li>・サービス検索ナビにおける公開基準について</li> <li>・サービス B の普及啓発・利用促進について</li> <li>・研修振り返り・伝達研修「戸塚区 2 層 Co.連絡会企画 第4地区視察研修」「体制整備事業研修～地域づくりの担い手とは～」 「地福計画職員研修」</li> <li>・市推進会議報告、各地域ケアプラザの取組共有 他</li> </ul>	7名

1月16日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度生活支援コーディネーター研究協議会Ⅰ</li> <li>・アセスメントとその活用“ゴールとプロセスの見える化”③アセスメントの視点・方法等</li> <li>・事例検討会④ テーマ:若年性認知症の方が「地域の拠点」で活躍できる可能性を探る</li> <li>・西区シニアクラブ活性化意見交換会とその後について共有</li> <li>・市推進会議報告、各地域ケアプラザの取組共有 他</li> </ul>	9名
2月16日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度取組の振り返り</li> <li>・研修会振り返り・伝達研修「地域づくり勉強会」「生活支援Co.研究会主催 研修『集合住宅の見守り』」</li> <li>・市推進会議報告、各地域ケアプラザの取組共有 他</li> </ul>	9名
3月17日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集合住宅の見守り取組状況調査結果を共有</li> <li>・令和5年度の取組に向けて</li> <li>・アセスメントとその活用“ゴールとプロセスの見える化”④アセスメント結果の活用方法・手段</li> <li>・市推進会議報告、各地域ケアプラザの取組共有 他</li> </ul>	9名

※場所は、すべて西区福祉保健活動拠点「フクシア」です

## ②研修の実施

スキルアップと、コーディネーター間の連携を目的に研修会を実施(参加)しました。

月日・場所	内容	参加人数
7月22日(金) 区役所	チラシづくり研修Ⅰ【動画視聴】	6名
10月28日(金) 区役所	チラシづくり研修Ⅱ【講義と実習】(地域活動交流 Co.連絡会共催)	14名
11月14日(月) 第4地区会館	第4地区視察研修(戸塚区2層 Co.連絡会主催)	6名 (西区からの参加者のみ)
1月25日(水) 福祉保健活動拠点 「フクシア」	令和4年度生活支援コーディネーター研究協議会Ⅱ	5名

## ③第2層協議体等への出席・支援

各地域ケアプラザでの課題解決に向けた検討会や新たな資源開発に向けた協議体等へ出席、支援しました。

4事業 延べ25回 開催

## (2) 第1層生活支援コーディネーターの取り組みについて

### ①事業推進に向けた地域ケアプラザ・区役所との協働

以下の会議の運営に携わりました。また、各地域ケアプラザの当該年度取組の振り返りと、次年度計画・方針を確認して事業を推進するため、2層生活支援コーディネーターおよび所長へのヒアリングを行いました。

- 1) 区版推進会議の開催 11回
- 2) 市版推進会議への出席 10回
- 3) 第1層コーディネーター連絡会・情報交換会への出席 9回

4)各地域ケアプラザへのヒアリング 4地域ケアプラザ×年2回(中間振り返り、次年度計画)

②介護予防・生活支援サービス補助事業(サービスB)の支援

1)継続団体の支援

活動推進に向けて、運営団体と関係機関で情報共有会を開催しました。

事業名・月日・場所	内容	参加者
ばあばの家あさだ 6月3日(金) ばあばの家あさだ	現状・課題の共有 今後の推進に向けて	たすけあいぐっぴい(ばあばの家あさだ)、藤棚地域ケアプラザ、宮崎地域ケアプラザ、区役所、区社協 計9名
訪問はっぴいさん 第1回:6月22日(水) 第2回:7月5日(火) 福祉保健活動拠点 「フクシア」	サービスB 訪問型支援について 事業説明・意見交換	はっぴいさん、宮崎地域ケアプラザ、藤棚地域ケアプラザ、戸部本町地域ケアプラザ、浅間台地域ケアプラザ、区役所、区社協 計26名
訪問はっぴいさん 11月18日(金) 福祉保健活動拠点 「フクシア」	相談・利用状況の共有 担い手の確保、運営における課題や懸念事項について	はっぴいさん、宮崎地域ケアプラザ、藤棚地域ケアプラザ、戸部本町地域ケアプラザ、浅間台地域ケアプラザ、区役所、区社協 計20名
ばあばの家あさだ 12月23日(金) ばあばの家あさだ	取組状況の共有 今後の推進に向けて	たすけあいぐっぴい(ばあばの家あさだ)、藤棚地域ケアプラザ、宮崎地域ケアプラザ、区役所、区社協 計8名

2)新規団体の支援

相談数：1団体

相談内容：通所型支援事業の申請

③地域アセスメントの取組

高齢者が参加可能な地域のサロンや趣味活動などの集いの場といった社会参加の場や、介護予防・健康づくりに取り組める場、移動販売やちょこっとボランティアといった生活支援サービスなど、区内の地域活動・地域資源を把握し、地域資源管理サービスソフト「Ayamu」等を活用して地域ケアプラザおよび区役所と共有しました。

## 2 身近な地域のつながり・ささえあい活動推進事業の推進

全職員がコミュニティソーシャルワークの視点で個別課題の発見と地域支援体制づくりを目指して業務に取り組みました。また、地域ケア会議への参加や研修会の開催等を通じ、地域ケアプラザや区と共に課題共有や解決に向けて取り組みました。

(1) 個別ケースの発見と対応

区社協が行う個別支援事業(あんしんセンター、生活福祉資金、ボランティアセンター、送迎サービス、移動情報センター)では他業務担当や地区担当との連携により、困難を抱えた方の課題解決に向け取り組みました。また、地域包括支援センター定例カンファレンスや地域ケア会議等に参加し、個別課題の把握を行いました。

①地域ケア会議への参加

(P7「4. 包括ケアシステムの推進支援 -(1)地域ケア会議への参加」参照)

②地域ケアプラザとの情報交換の実施

地域ケアプラザとの連携強化を目的に、区内4地域ケアプラザの包括カンファレンスや6職種会議などに参加し、地域情報等の共有や情報交換などを行いました。(各地域ケアプラザ月1回程度)

(2) 地域づくり研修の企画・開催

住民主体の地域づくりの推進に向け、地域ケアプラザ・区社協・区役所の専門職が伴走支援のスキルを高めるとともに、各専門機関・職種が互いの強みを理解し活用し合えるよう、推進体制の構築を目的に研修会を開催しました。

対象者:地域ケアプラザ委託部門職員、西区役所職員(社会福祉士・保健師)、西区社協職員

月日・場所	内容	参加者
10月31日(月) 区役所	内容:「個別支援」×「地域支援」Ⅰ ～チームの構築に向けて～ 講師:武蔵野大学人間科学部社会福祉学科教授 渡辺裕一氏	地域ケアプラザ16名 区役所11名 区社協7名 計34名
2月10日(金) 区役所	内容:「個別支援」×「地域支援」Ⅱ ～チーム構築から地域資源づくりへ～ 講師:武蔵野大学人間科学部社会福祉学科教授 渡辺裕一氏	地域ケアプラザ18名 区役所12名 区社協8名 計38名

### 3 地区社協活動の推進支援

地域福祉活動の中核を担う地区社協が地域の様々な活動団体の協議体としての役割を發揮し、地域課題の解決に向けた活動が展開できるよう、地区社協の組織運営や活動の支援、研修、助成を行いました。

(1) 地区社協活動の運営・活動支援

①地区社協研修の実施

1)地区社協研修会 [区社協主催研修]

地区社協の体制強化や活動の充実に向けて、次の研修を開催しました。

月日・場所	内容	参加人数
9月22日(木) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	<b>【ミニ勉強会】</b> 「新しい困りごとに対して地区社協だからこそできること」 地区社協分科会の中で、令和3年度の「地区社協全体会」の導入講義を聴き、地区社協ネットワークから把握した地域の困りごと等について意見交換をしました。	15名

※令和4年度「よこはまの地区社協全体会」は、新型コロナウイルス感染防止のため実施されませんでした

2)第7回よこはま地域福祉フォーラム [市社協との共催研修]

横浜市社会福祉協議会及び18区社会福祉協議会で共催

月日・場所	内容	開催方法
12月8日(木) 関内ホール	テーマ:「よりそい続ける つながりを育む」 ～「おたがいさま」のところが紡ぐ豊かなまち～ <b>【全体会】</b> 基調講演:「一人ひとりによりそえる地域へ ～ともにいる日常を育む～」 講師: 奥田 知志氏 (NPO 法人 抱樸理事長) <b>【分科会】</b> 第1分科会: 緩やかにしなやかに気かけあえるまちへ 第2分科会: 「私のまち」を「私たちのまち」に	オンライン 配信 (R5.2.1～ 3.24)

3)にこまち講座への参加

西区地域福祉保健計画「にこまちプラン」にかかる区との共催講座を地区社協研修と位置づけ、地区社協関係者の参加を募りました。

月日・場所	内容	参加人数
10月24日(月) 区役所	<b>【講演会】</b> 基調講演:「コロナ禍から考えるこれからの地域活動」 ～どんな時代でもわたしもあなたも 安心して生活できる地域づくり～ 講師: 龍村敦子氏 (逗子市「山の根自治会」会長)	50名

②地区社協活動費の交付・助成

地区社協活動の充実に向け、安定した財源を確保するために助成金を交付しました。

<地区社協助成金>

項目	内容	財源
<b>【活動運営費】</b>	300 千円 6地区 210 千円 6地区 285 千円 6地区	市社協補助金 共同募金配分金 賛助会費還元金
<b>【活動事業費】</b>	地区社協事業 1,503 千円 6地区 親子ふれあい会事業 153 千円 2地区 地区社協研修費 30 千円 1地区 高齢者見守り活動交流会 18 千円 1地区	共同募金配分金 共同募金配分金 共同募金配分金 共同募金配分金
<b>【小地域活動応援金】</b>	900 千円 6地区	福祉基金
<b>【年末たすけあい募金配分】</b>	600 千円 6地区	年末たすけあい募金助成配分

### ③地区アセスメントシートの活用

地区社協支援に向け、地区ごとの社会資源や情報を集約したデータを更新し、区・地域ケアプラザと共有活用しました。

### (2)地区社協分科会の開催

地区社協の体制強化や活動の充実に向け、地区社協会長・地区社協事務局長等を対象とした分科会を開催し、地区社協間の情報交換や課題検討等を行いました。（詳細はP29-30）

## 4 地域包括ケアシステムの推進支援

### (1) 地域ケア会議への参加

各地域ケアプラザで開催された地域ケア会議に参加し、個別課題の把握から地域課題の解決に向けた取組につながるよう、具体的な対応等について検討しました。

主催	月日	内容	参加者数
藤棚地域ケアプラザ	5月29日(日)	包括レベル地域ケア会議	16名
浅間台地域ケアプラザ	6月30日(木)	個別レベル地域ケア会議	12名
	1月31日(火)	包括レベル地域ケア会議	19名
宮崎地域ケアプラザ	11月24日(木)	包括レベル地域ケア会議	36名
戸部本町地域ケアプラザ	10月11日(火)	包括レベル地域ケア会議	18名
	1月19日(木)	包括レベル地域ケア会議	16名
区役所	7月25日(月)	区レベル地域ケア会議 準備会	8名 (オンライン参加者除)
	3月24日(金)	区レベル地域ケア会議	24名

### (2) 地域ケアプラザ との連携

#### ①地域活動交流コーディネーター連絡会の開催

地域ケアプラザと連携した地域支援を進めていくために、地域活動交流コーディネーター連絡会を開催し、地域情報等の共有や情報交換などを行いました。

月日・場所	内容	参加人数
4月22日(金) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	・今年度事業について ・自主事業／地域情報について ・各所管より情報提供	11名
5月27日(金) 藤棚地域ケアプラザ	・自主事業について ・地域情報について ・サブコーディネーター研修について ・合同事業について ・にこまちフォーラムについて	9名

6月17日(金) 宮崎地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主事業について</li> <li>・地域情報について</li> <li>・サブコーディネーター研修について</li> <li>・合同事業について</li> </ul>	8名
7月22日(金) 西区役所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主事業について</li> <li>・サブコーディネーター研修ふりかえり</li> <li>・地域情報について</li> <li>・にこまちフォーラムについて</li> <li>・チラシ作り研修について</li> </ul>	8名
8月26日(金) 西区役所	・チラシ作り研修①【動画版】	8名
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主事業について</li> <li>・地域情報について</li> <li>・にこまちフォーラムふりかえり</li> <li>・スマホサポーター受入について</li> <li>・地域支援研修について</li> </ul>	8名
9月16日(金) 藤棚地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主事業について / 夜間開閉館の対応について</li> <li>・地域情報について</li> <li>・チラシ作り研修について</li> <li>・ふれあい会 地区別研修会について</li> </ul>	11名
10月28日(金) 西区役所	・チラシ作り研修②【講義版】(生活支援 Co.連絡会共催)	14名
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神奈川大学シニアインタビューについて</li> <li>・自主事業について</li> <li>・地域情報について</li> </ul>	9名
11月25日(金) 宮崎地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神奈川大学シニアインタビューについて</li> <li>・自主事業について</li> <li>・地域情報について</li> <li>・地域支援研修について</li> </ul>	8名
12月23日(金) 戸部本町地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神奈川大学シニアインタビューふりかえり</li> <li>・自主事業について</li> <li>・地域情報について</li> <li>・地域福祉保健計画事務局職員研修の伝達研修</li> </ul>	8名
1月27日(金) 浅間台地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主事業について</li> <li>・地域情報について</li> </ul>	8名
2月24日(金) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度事業について</li> <li>・地域情報について</li> <li>・ボランティア保険情報提供</li> </ul>	9名
3月24日(金) 藤棚地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度合同事業について</li> <li>・地域の情報について</li> </ul>	8名



②地域ケアプラザ サブコーディネーター研修

地域活動交流部門職員のスキルアップと、区内地域ケアプラザ間の連携や交流を目的に開催しました。

月日・場所	内容	参加人数
7月21日(木) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	認知症サポーター養成講座 ・認知症理解について ・家族介護者の気持ちを知る ・意見交換	26名

③区看護職連絡会への参加

地域ケアプラザ、区役所看護職と連携して介護予防・健康づくり、社会参加等の取組を進めていくことを目的に、西区看護職連絡会に参加し、地域情報等の共有や情報交換などを行いました。(月1回)

④区認知症キャラバンメイト連絡会・SOS ネットワーク連絡会への参加

区内の認知症キャラバンメイト連携して認知症の普及啓発と認知症の人と家族を支える取組を推進していくことを目的に、西区認知症キャラバンメイト連絡会等に参加し、情報共有、意見交換などを行いました。(年2回)

⑤地域ケアプラザ所長会への参加

区役所、区社協、地域ケアプラザとの情報交換を目的とした西区地域ケアプラザ所長会に参加しました。  
(年12回)

## II ボランティア活動の推進・支援

### 1 ボランティア活動に関する相談・登録・調整・情報提供

(1) ボランティア相談・登録・調整

ボランティアを必要としている方とボランティア活動をしたい方からの相談を受け付け、相互の調整を図りました。活動後に双方へ聞き取りを行い、継続的な依頼・活動につなげました。

①ボランティア登録

ボランティア活動を希望する個人及びグループに登録を依頼し、ボランティア講座の情報提供やニーズ紹介を行いました。

	個人 (人)			ボランティアグループ	
	男性	女性	計	グループ数	人数
R4 新規登録者	21	42	63	13	88
参考) R3 新規登録者	22	42	64	10	168
累計 (R5年3月末現在)	133	207	340	82	1,396

② 単発依頼

	依頼 件数	紹介 件数	調整中	調整 つかず	取り下げ	紹介 人数	調整数	対応率	前年度 対応率
児童	3	3	0	0	0	14	5	100%	0%
障害	8	5	0	1	0	5	5	63%	67%

高齢	105	97	1	1	5	188	112	92%	91%
外国人	0	0	0	0	0	0	0	-	100%
限定せず	27	24	1	2	0	144	136	89%	100%
その他	16	14	0	0	1	46	55	88%	0%
R4合計	159	143	1	4	6	397	313	90%	89%
参考) R3合計	129	115	1	2	10	323	313	89%	86%
比較増減	30	28	0	2	△4	74	0		

### ③ 継続依頼

	依頼 件数	紹介 件数	調整中	調整 つかず	取り下げ	紹介 人数	調整数	対応率	前年度 対応率
児童	5	2	2	1	0	2	4	40%	33%
障害	7	5	1	0	1	10	16	71%	57%
高齢	17	10	4	0	3	19	22	59%	33%
外国人	0	0	0	0	0	0	0	-	-
限定せず	6	5	1	0	0	22	25	83%	100%
その他	1	1	0	0	0	1	4	100%	-
R4合計	36	23	8	1	4	54	71	64%	45%
参考) R3合計	33	15	13	1	2	56	171	45%	47%
比較増減	3	8	△5	0	2	△2	△100		

## (2) ボランティアニーズの把握

ボランティア活動を希望する方へ幅広い活動の情報提供を行うため、会員施設へボランティア受入れ状況等の聞き取りを行いました。

## (3) ボランティアセンター情報の発信

ボランティア活動に関する情報をまとめ、広く区民に提供(発信)しました。

区社協広報紙 「もくせい」	区民に福祉への理解や関心を深めるため、区社協事業や地域福祉活動・ボランティア活動を紹介しました。 年2回発行、7月 41, 200部、3月 40, 900部。タウンニュース紙面上に掲載。
西区ボランティア センターニュース 「花スイセン」	ボランティア募集情報やボランティア各種講座のお知らせ、ボランティア団体の活動紹介などを掲載しました。 年4回発行、各800部。登録ボランティア及び関係機関、区社協会員に送付。
ホームページ	ホームページ内に、ボランティア募集情報、講座・イベント情報の専用ページを設け、ボランティア募集や助成金の案内など最新情報を随時掲載しました。

## 2 ボランティア・市民活動への育成・支援

### (1) ボランティア活動者の育成

#### ① ボランティア活動についての啓発

ボランティア活動・地域活動への参加を促すことを目的に企画・実施しました。

月日・場所	内容	参加人数
6月3日(金) 6月10日(金) 7月8日(金) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	「スマホサポーター養成講座」 ・教えるときのポイント ・よくある質問 ・フィールドワーク ・情報交換 他 現場実習を地域の高齢者サロン等で19回実施	19名
7月5日(火) 9月27日(火) 11月2日(水) 12月1日(木)	気持ちの良い街づくり「ゴミ拾いボランティア」 福祉保健活動拠点「フクシア」周辺の清掃活動	のべ43名
7月27日(水) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	「学生向けボランティア入門講座」 ・ボランティアとは ・ボランティアの心構え ・車いす体験(介助体験・自走体験) ・夏休みボランティア体験のご案内	13名
8月3日(水) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	「学生向け障害理解啓発講座～見えない障がいを学ぼう～」 ・障害児の保護者からの講話 ・疑似体験(軍手をして折り鶴を折る) ・紙芝居「みんないっしょ」 ・ビデオ「みんないっしょ～災害時に誰も困らないために～」	15名
10月12日(水) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	「ボランティア入門講座」 ・ボランティアとは ・ボランティアの心構え ・車椅子体験(介助体験・自走体験) ・ボランティア活動紹介	5名
11月16日(水) 11月30日(水) 12月7日(水) 12月14日(水) 12月21日(水) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	「手話入門講座」 当事者講師による初心者向け手話講座	30名
12月～1月	神奈川大学 学生向けボランティア活動紹介 活動先 ・フードドライブ配分作業 ・地域食堂 ・桜木町駅周辺の清掃活動 ・ポッチャ同好会	のべ19名
5月10日(火) 9月7日(水) 12月20日(火) 2月10日(金)	ボランティアセンター情報紙「花スイセン」発送作業	のべ21名

(2) ボランティア活動者の育成

①ボランティア保険等の受付

安心してボランティア活動が行えるよう、ボランティア関係の保険について案内と受付を行いました。

保険名	ボランティア活動保険	ボランティア 行幸用保険	福祉サービス総合補償
R4年度(件数)	73件 (うち天災プラン7件)	169件	7件
R3年度(件数)	72件 (うち天災プラン10件)	186件	7件
比較増△減	1件	△17件	0件

(3) フードドライブ活動(食料支援)の推進

各家庭にある使い切れない未使用食品について、食品を必要としている団体にお渡しする「フードドライブ」活動を実施しました。

寄付受付期間	寄付件数	配分団体数	主な配分先
第1回: 7月1日～7月15日	29件(848点)	19団体	高齢者食事会、子ども食堂、多世代交流サロン、認知症カフェ、青少年支援施設、生活困窮世帯支援団体等
第2回: 12月1日～12月15日	29件(2,329点)	20団体	
第3回: 3月1日～3月15日	24件(1,379点)	23団体	
合計	82件(4,556点)		

※令和2年度より、資源循環局西事務所のフードロス活動と連携して実施しています。

(4) ボランティアセンター機能の強化

①職員のスキルアップ

各種研修や勉強会に職員が参加するほか、毎月1回職員間でのミーティングを行い、ボランティア活動やニーズ収集・対応、ボランティア団体との関係構築等のスキルアップにつなげました。

②ボランティアセンター運営委員会の開催

ボランティアセンター業務の運営、ボランティア活動の振興、寄付金品の受付・配分等を審議するため、ボランティアセンター運営委員会を年2回開催しました。(詳細はP33参照)

(5) ボランティア・市民活動分科会の開催

区社協会員のボランティアグループ・市民活動団体同士の情報交換と、区社協からの情報提供等を行うために、コロナ禍の情勢を見ながら年3回開催しました。(詳細はP32参照)

(6) 善意銀行の運営

区内の団体や個人の方からの寄付金品を受け付け、寄付者の意向に基づき地域の福祉活動等のために活用しました。ボランティアセンター運営委員会において審議の上配分をしています。

① 寄託

内容	件数	合計
金銭寄付	10件	139,567円

物品寄付	20件	子ども用車椅子、木製折り畳みハイチェア、ランドセル、おもちゃ、生理用品、カレンダー他
------	-----	--

(詳細は 別表5を参照)

## ② 配分

内 容	件数	合計
金銭配分	1件	・福祉教育助成金 @10,000×1件=10,000
物品配分	33件	・福祉関係施設、ボランティアグループ、当事者団体等へ配分

## 3 ボランティア・市民活動への財政支援

### (1) 西区社協ふれあい助成金

より豊かな市民社会の実現のために、市民の自発性のもと、西区内もしくは横浜市内で行われる非営利な地域福祉推進事業や障害福祉推進事業の支援を目的として助成金を配分しました。

配分については、助成金等審査委員会にて審議し決定しています。

助成区分	件数	金額
要援護者支援区分（集いの場活動）	17件	1,711,000円
要援護者支援区分（家事・生活支援活動）	3件	630,000円
要援護者支援区分（配食活動）	1件	80,000円
障害児者支援区分（当事者活動）	4件	440,000円
障害児者支援区分（宿泊・日帰りハイク活動）	1件	50,000円
障害児者支援区分（視覚聴覚障害者支援活動）	1件	50,000円
福祉のまちづくり区分	9件	340,000円
合 計	36件	3,301,000円

(詳細は 別表1を参照)

### (2) 西区社協会員助成金

区社協正会員が行う地域福祉活動及び地域における公益的な取組に対して助成金を配分しました。

配分については、助成金等審査委員会にて審議し決定しています。

助成区分	件数	金額
地域福祉・地域貢献事業助成	2件	109,000円
周年事業助成	1件	160,000円
合 計	3件	269,000円

(詳細は 別表2を参照)

### (3) 年末たすけあい募金の配分

地域の皆さまの協力により集まった「年末たすけあい募金」を、西区内における年末時期の様々な福祉活動に

活かし、福祉のまちづくりを推進するため、助成金として配分しました。  
配分については、助成金等審査委員会にて審議し決定しています。

助成区分	件数	金額
年末たすけあい募金助成金	11件	822,880円

(詳細は 別表3を参照)

#### (4) にこまち助成金の配分

横浜市に寄付された約1億円を財源とし平成22年に設置された「にこまち基金」事業として、にこまちプラン(西区地域福祉保健計画)を推進していく活動を支援するため、つぎの団体へ助成しました。

配分については、にこまち助成金審査委員会にて審議し決定しています。

(①申請金額が5万円以下のもの(会長決裁で決定) ②申請金額が5万円を超えるもの(審査委員会))

申請区分	団体数	助成金額	
A区分 (まちづくり)	8団体	<申請金額5万円以下>:	2団体 96,000円
		<申請金額5万円を超える>:	6団体 1,183,000円
B区分 (サービスづくり)	4団体	<申請金額5万円以下>:	— —
		<申請金額5万円を超える>:	4団体 1,148,000円
C区分 (人づくり)	1団体	<申請金額5万円以下>:	— —
		<申請金額5万円を超える>:	1団体 189,000円
合計	13団体	2,616,000円	

(詳細は 別表4を参照)

## Ⅲ 災害ボランティアネットワークの推進

### 1 『西区災害ボランティアネットワーク』の推進

#### (1) 災害ボランティア活動者の育成

災害ボランティアネットワーク会員のスキルアップを目的とした総会・定例会の開催など、横浜市西区災害ボランティアネットワークの運営支援を行いました。

<定例会等の開催協力>

月日	内容	参加人数
4月16日(土)	定例会	6名
5月14日(土)	総会	6名 (委任14名)
6月18日(土)	定例会	5名
7月16日(土)	定例会	5名
7月23日(土)	第五地区納涼まつりでの出展	3名
8月20日(土)	定例会	台風のため中止
9月17日(土)	定例会	6名

10月1日(土)	赤い羽根街頭募金活動協力	3名
10月22日(土)	研修「市民防災センター見学・体験会」(水災害を学ぶ)	12名 (うち実習生2名)
11月10日(木)	県立横浜平沼高等学校地域貢献デーへの協力「防災学習」	34名 (うち生徒30名)
11月19日(土)	定例会	6名
12月17日(土)	研修「静岡市災害ボランティアセンター運営支援活動報告&災害情報システム体験」	10名
1月21日(土)	定例会	6名
2月18日(土)	研修「防災まち歩き～浅間町エリアを歩く～」	11名
3月18日(土)	定例会	5名
3月25日(土)	浅間台小学校放課後キッズクラブ・浅間コミュニティハウス主催イベントへの協力	20名 (うち市民8名)

(2) 災害ボランティアセンター運営に関する協定書の締結

西区役所・西区災害ボランティアネットワーク・西区社会福祉協議会の3者による協定(横浜市西区災害ボランティアセンター設置・運営に関する協定書)を締結し、各機関の役割について明確化しました。

## IV 福祉啓発・福祉教育の推進

### 1 福祉啓発・福祉教育の推進

(1) 企業の地域貢献活動の支援

地域貢献活動を希望する企業からの相談に対し、地域のニーズを伝え、企業の要望や強みを活かした活動に繋がられるよう支援しました。

(2) 福祉教育活動の相談調整

学校等からの相談に対応し、講師として協力したほか、講師紹介等を行いました。

月日	依頼者	内容	参加人数
11月10日(木)	神奈川県立横浜平沼高校 1年生	地域貢献デー (共同募金運動、災害ボランティア)	約60名
11月25日(金)	みなとみらい本町小学校 1・2年生	知的障害理解	約170名
11月29日(火)	みなとみらい本町小学校 3年生	共生社会 ～障害はどこにあるんだろう～	約60名
12月9日(金)	みなとみらい本町小学校 5・6年生	聴覚障害理解	約125名
12月2日(金)	岡野中学校 1年生	聴覚障害理解	約125名
3月12日(日)	よこはまユース 中高生	心のユニバーサルデザイン	11名
3月25日(土)	浅間台小学校 放課後キッズクラブ	防災について	8名

(3) 福祉教育機材の貸出

学校・職場で福祉体験を行う際に車椅子等の機材を必要とする方へ貸し出しました。また、障害者施設の就労支援の目的も兼ね、NPO法人無限夢工房に車椅子の点検・清掃作業を年間を通して委託しました。

(件数)

機材名	車椅子	高齢者疑似体験セット	妊婦体験セット	アイマスク	白杖	点字器	ユニバーサルデザイングッズ
R4年度	54	2	2	3	3	4	1
参考) R3年度	33	1	1	2	2	3	1

(4) 社会福祉士相談援助実習の実習生の受入

福祉分野で活躍する人材育成を目的に、社会福祉士資格取得を目指す実習生を受け入れ対応しました。

実習期間：9月5日～10月27日

実習時間：180時間超（市社協での実習7.5時間含む）

実習生：星槎大学、武蔵野大学 計2名

## V 総合相談

### 1 地域における権利擁護事業(あんしんセンター事業)の推進

判断能力や身体能力が不十分な高齢者や障害者が安心して日常生活を送ることができるように支援するため、権利擁護に関する相談に対して、関係機関と連携を取りながら対応しました。また、福祉サービス利用援助、定期訪問・金銭管理サービス、財産関係書類等預かりサービスを契約に基づき実施しました。

(1) 地域福祉権利擁護事業(あんしんセンター事業)

① 権利擁護に関する相談

1) 件数

		高齢者			障害者			その他不明	合計
		認知症	その他		身体	知的	精神		
R4年度	27	5	22	9	2	2	5	0	36
参考) R3年度	30	5	25	14	4	6	4	0	44

2) 内容(複数内容あり)

内容	金銭管理・財産関係等預かり	今後の生活設計	金銭・消費契約	相続・遺言	家族親類との関係	財産侵害	日常生活上の問題	隣人知人との関係	福祉サービス利用	就業関係	成年後見制度	その他	合計
R4年度	36	0	0	0	1	1	0	0	0	0	4	2	44
参考) R3年度	42	0	1	0	0	1	1	0	0	0	6	2	53



② 契約によるサービス(定期訪問・金銭管理サービス・財産関係書類等預かりサービス)

1) 契約件数

	契約件数		新規契約件数 (他区からの移管含む)		終了件数 (他区への移管含む)	
	R4年度	R3年度	R4年度	R3年度	R4年度	R3年度
定期訪問・金銭管理サービス	39	36	13	8	10	7
高齢者	31	27	12	7	8	6
障害者	8	9	1	1	2	1
財産関係書類等預かりサービス	1	3	0	0	2	0
高齢者	1	2	0	0	1	0
障害者	0	1	0	0	1	0

※ 終了理由: 【R4年度】死亡:4、成年後見:4、施設入所:2      【R3年度】死亡:4、施設入所:3

2) 相談等延べ件数

		R4年度	R3年度	比較増減
契約前対応	電話	340	394	△54
	来所	1	0	1
	訪問	11	16	△5
	手続き援助等	7	8	△1
	合計	359	418	△59
契約者対応	電話	2,780	2,473	307
	来所	9	7	2
	訪問	559	533	26
	手続き援助等	210	272	△62
	合計	3,558	3,285	273
終了後対応	電話	35	28	7
	来所	2	1	1
	訪問	3	1	2
	手続き援助等	1	1	0
	合計	41	31	10

③ 広報・啓発活動

1) 講座の開催

区社会福祉協議会、区内4地域ケアプラザ(地域包括支援センター)社会福祉士会が連携し、成年後見制度をテーマに「西区権利擁護連続講座」を開催しました。

月日・場所	内 容	参加人数
5月23日(月) 戸部本町地域ケアプラザ	遺言・相続について 等 講師:行政書士 福島秀一氏	19名
6月13日(月) 宮崎地域ケアプラザ	成年後見制度について 等 講師:司法書士 蟹沢秀光氏	18名

④ 西区役所及び地域ケアプラザ(地域包括支援センター)との連携

1) 西区社会福祉士会への参加

権利擁護事業に関して情報交換を行うため、月1回の会議に出席しました。

- 2) 成年後見サポートネット全体会、専門職会議への協力  
西区役所が開催した成年後見サポートネット全体会に年1回、専門職会議に年3回参加し、事前打ち合わせ、当日運営に協力しました。
- 3) 区内事業者 新人ケアマネジャー向け研修への参加  
区内事業所の新人ケアマネジャー向けに、あんしんセンター利用の手続きや連携方法について説明しました。
- 4) ケース検討会等の実施・参加  
契約者への支援方法の確認や情報共有のため、ケース検討会を行いました。(随時)

## (2) 市民後見人候補者、受任者への支援

### ①市民後見人候補者の支援

成年後見制度の利用を必要とする高齢者や障害者の権利を擁護し、地域での生活を身近な市民が支える仕組みづくりを目指して、養成講座を受講した市民後見人候補者に対してフォローアップを行いました。

### ②市民後見サポートネット

西区役所や区内地域ケアプラザ社会福祉士、市民後見人バンク登録者とともにケース検討を行い、市民後見制度について見識を深めました。

月日・場所	内容	市民後見人バンク登録者参加人数
2月16日(木) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	ケース検討	11名

## 2 生活困窮者等支援

### (1) 生活福祉資金貸付事業

【生活福祉資金】 低所得者、障害者や日常生活上療養または介護を必要とする高齢者のいる世帯等に対して、その世帯の生活の安定と経済的自立を図ることを目的として資金の貸付と必要な援助を実施しました。

【総合支援資金】 失業等、日常生活に困難を抱えている世帯に対し、生活の再建のために継続的な相談支援と、生活費、一時的な資金貸付を委託事業として実施しました。

R3年度から引き続き、新型コロナウイルスの影響による収入減少や失業等により困窮し日常生活の維持が困難となった世帯を対象として、緊急小口資金および総合支援資金(生活支援費)の〈特例貸付〉を実施しました。

#### ①貸付件数

新規相談 資金項目	新規貸付決定件数
総合支援資金	0
臨時特例資金	1
緊急小口資金	5
福祉資金(教育支援資金含む)	10
不動産担保(要保護含む)	0
生活福祉資金以外の制度	-
合計	16

〈新型コロナ 特例貸付〉 ※R4.9 月末まで受付

資金項目	相談件数	申請受付件数
緊急小口資金 〈特例〉	203	延べ 81
総合支援資金 〈特例〉		延べ 75
合計	203	156

② 相談件数

相談項目 資金項目	制度内容相談			貸付相談			返済相談			合計
	面接	電話	その他封書等	面接	電話	その他封書等	面接	電話	その他封書等	
総合支援資金	5	88	64	8	50	71	24	98	246	654
臨時特例資金	0	25	6	4	1	9	0	10	24	79
緊急小口資金	2	109	36	26	84	127	23	84	216	707
福祉資金(教育支援資金含む)	8	264	73	37	127	247	5	34	197	992
不動産担保(要保護含む)	0	5	1	0	1	3	0	3	8	21
生活福祉資金以外の制度	36	302	121	/	/	/	/	/	/	459
R4 年度合計	51	793	301	75	263	457	52	229	691	2,912
参考) R3 年度合計	27	745	474	141	541	689	34	228	970	3,849
比較増△減	△24	48	△173	△66	△278	△232	18	1	△279	△937

(2) 生活福祉資金貸付世帯への支援取り組みの実施

月次報告を基に償還状況を確認、四半期ごとに担当民生委員への償還残高を確認する書類を配付しました。

生活福祉資金償還滞納ケースについて、担当民生委員と連携を図り対象ケースを確認、把握した世帯の状況に応じて、継続支援、事務移管等の手続きを行いました。

内容	件数
住所不明調査(あて先不明で返送されてきた借受者等)	4件

(3) 生活困窮者自立支援施策への対応

区生活困窮者自立支援事業担当課との情報交換等

総合支援資金(特例)貸付申請にかかる「自立相談支援機関相談票」の受け渡し時に、申請希望者の状況や制度の変遷への対応等について随時、情報共有を行ないました。

(4) 食料支援

区役所や個人から支援要請があった世帯について、状況をヒアリングして必要性を検討し、窓口にて食料の提供もしくは食糧支援を行っている団体を紹介しました。

食糧支援団体	件数
フードバンクかながわ	24件

## VI 福祉ニーズのある方への支援

### 1 子育て支援

#### (1) 児童福祉関係分科会の開催

児童関係団体・施設を中心とした区社協会員の集まりである分科会を開催しました。今年度は会員同士互いの活動を知りたいとの意見により、参加団体より取り組み・事業説明などミニ講座として発表や、コロナ禍の中でのそれぞれの課題や工夫について情報共有・意見交換を行いました。(詳細はP31参照)

#### (2) 子どもの居場所情報交換会の開催

学齢期の子どもの居場所づくりを進める目的で意見交換、居場所情報交換会の開催について検討しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催は次年度へ延期となりました。

#### (3) 親子ふれあい会への支援

各地区社協で行われている「親子ふれあい会」の活動に対し活動費を助成しました(財源:共同募金配分金)。

地区社協名	金額
第二地区社協	30,000円
第五地区社協	66,000円
第六地区社協	57,000円
合計	153,000円

### 2 障害児・者支援

#### (1) 西区地域自立支援協議会への参画

区内の障害関係施設で構成する「西区地域自立支援協議会」の一員として、全体会議(年2回)の他、各種会議等に参加・協力しました。

参加会議名	内容
担当者会議	全参加施設の担当者の集まり
防災会議	災害時対応についての検討等(オンライン参加)

#### (2) 障害者福祉関係分科会の開催

障害児者関係団体・施設を中心とした分科会を開催し、「その人の特性や個性を理解し、地域で生活する住民としてつながる機会・関わりの機会を広げる」ことをテーマに映画上映や講話等を交えながら、各団体での取組についての意見交換を行いました。(詳細はP30-31参照)

### 3 高齢者支援

#### (1) 高齢者福祉関係分科会の開催

高齢者関係団体・施設を中心とした分科会を開催。「見守り」をテーマに“気になること”を共有し、ロジックツリーの手法(フレームワーク)を用いて“気になる状況”の原因を追及。課題解決のための取組について意見交換を行いました。(年3回)

(詳細はP30参照)

(2) 関係機関との連携

シニアクラブの活動状況の共有および連携強化を目的に、西区シニアクラブ活性化意見交換会に参加しました。

(3) ふれあい会に対する支援

西区役所から業務を受託し、西区ふれあい福祉推進事業「ふれあい会」(高齢者等見守り活動)の申請・報告の受付、相談対応、事務説明会を行いました。また、情報交換・研修会を地区ごとに開催しました。

ア) 報告・申請書類の受付(年2回)

報告・申請書類の 受付	令和3年度 下半期報告	52団体 (4月)
	令和4年度 申請	52団体 (4月)
	令和4年度 上半期報告	52団体 (10月)

イ) 相談対応

相談件数 48件/年 \*新規立ちあげ相談 4団体

ウ) 事務説明会

月日・場所	内容	参加者
3月3日(金) 区役所	第1部 研修会 「西区の見守り活動について」	41名 (26団体) ふれあい会21団体、新規立ち上げ検討4団体、その他地域団体1団体、地域ケアプラザ2名
	第2部 事務説明会	49名 (41団体) ふれあい会27団体、新規立ち上げ検討4団体、地域ケアプラザ2名

エ) ふれあい会情報交換・研修会の実施

区役所および地域ケアプラザと共催し、地区ごとに地区状況に応じたプログラムで研修会を開催しました。

地区名	月日・場所	内容	参加者			
			地域住民	ケアプラザ 地域	区役所	区社協
第一地区	12月13日(火) 戸部コミュニティハウス	1. ふれあい会の活動について 2. 地区ごとのプログラム 【第一地区】	12	6	2	3
第二地区	1月31日(火) 戸部本町地域ケアプラザ	エコマップを通じた事例検討 【第二地区】	23	5	3	3
第三地区	1月24日(火) 藤棚地域ケアプラザ	取組紹介 「伊勢四自治会ふれあい会」 【第三地区】	14	6	3	3
第四地区	11月22日(火) 野毛山荘	あんしんカードについて 【第四地区】	18	3	3	3
第五地区	1月21日(土) 南幸自治会館	取組紹介「かすみふれあい会」 【第五地区】	12	7	3	2
第六地区	12月2日(金) 西スポーツセンター	取組紹介「クリオふれあい会」 【第六地区】	17	3	3	3
計6回			96	30	17	17

オ)その他

広報紙「みみよりひろば」発行の事務を担いました。(年4回)

## 4 移送サービス事業

公共の交通機関を使った外出が困難な在宅の高齢者、障害児・者、難病患者を対象に、コーディネートを行い、タクシー事業者による外出支援サービスを提供しました。

### (1) 利用状況及び登録者

#### ①利用内容

(件数)

利用内容	利用数
R4年度 医療(通院等)	15
R4年度 福祉サービス利用 他	0
R4年度 合計	15
参考) R3年度 実績	38
比較増△減	△23

#### ②新規利用登録者

(人数)

新規利用登録	総数
R4年度登録者	0
参考) R3年度登録者	0
比較増△減	0

※横浜市では、他の送迎サービス事業の制度や移動に制約のある方が外出しやすい環境が整備されてきており、当該事業運営について終了に向けた調整を進めてきました。  
R4年10月からは新規登録を停止し、介護タクシー等を紹介するなど対応しました。

## 5 小災害見舞等への支援

### (1) 低所得者援護費の給付

行路病人に対して援護金を区民児協を経由して給付しました。

給付件数		内容	金額
R4年度	14件	旅費13件、その他1件	7,320円
参考) R3年度	16件	旅費16件	5,570円
比較増△減	△2件		1,750円

### (2) 小災害見舞金の交付

区内で小災害(台風、火事等)に被災された世帯に対し見舞金を交付しました。

災害発生日	件数・内容	金額
3月26日(土) ※5月に申請	火災 1件	10,000円
4月28日(木)	火災 1件	15,000円
R4年度 合計	火災 2件	25,000円
参考) R3年度 合計	火災 5件	65,000円
比較増△減	△3件	40,000円

## 6 移動情報センター

障害のある方やご家族、支援者等からの移動に関する相談に応じて、サービス事業者やボランティア等の紹介・コーディネートを行いました。また、ガイドボランティア事業として、移動支援に関わるボランティア等の発掘・育成に向けた取り組みを行いました。その他、学校や関係機関に直接伺い、移動情報センターの制度説明、サービス事業者等の移動支援に関する情報の収集・更新に努めました。

※横浜市より業務委託を受け、平成30年1月から「西区移動情報センター」を開設しています。

### (1) 相談対応・コーディネート 相談件数:45件

#### ①障害種別:

身体	知的	精神	その他
6件	24件	7件	8件

#### ②相談内容:

通院等必要 不可欠な外出	余暇等社会参加 のための外出	通学	通所	制度説明	その他
2件	6件	18件	14件	1件	4件

#### ③調整件数:729件

電話	メール、FAX等	来所	訪問
704件	2件	15件	8件

### (2) 移動情報センター推進会議の開催

月日	内容	人数
7月8日(金)	・令和3年度事業実績報告について ・令和4年度西区移動情報センター周知の取り組みについて	9人
12月15日(木)	・西区移動情報センターの相談受付状況 ・令和4年度西区移動情報センター周知の取り組みについて	11人
3月2日(木)	・西区移動情報センターの相談受付状況 ・令和4年度西区移動情報センター周知の取り組みについて ・令和5年度西区移動情報センターの事業計画について	7人

### (3) 横浜市ガイドボランティアの養成・コーディネート

ボランティアによる付添い依頼の相談に対して、登録ガイドボランティアだけでなくボランティアセンターと連携して調整を行いました。また、相談者の近隣地域にて自治会町内会や民生委員へ相談するなど、新規ボランティアを募りました。コーディネートにおいて、ガイドボランティアと支援対象者との初回顔合わせや初回活動へ同行、活動後の状況確認を行うなど、ガイドボランティアが安心して活動ができるよう定着に向けた支援を行いました。

#### ①登録者数:

支援対象者	ガイドボランティア
17名	24名

#### ②活動状況：【通学】74件 【通所】127件 【一般】119件 【余暇】0件

※上記活動状況に含まれない件数として、以下の活動あり

- ・西区の支援対象者に対する他区のガイドボランティア登録者による活動
- ・西区のガイドボランティア登録者によるガイドボランティア事業対象外のボランティア活動

### ③養成講座の開催

地域における移動支援に関わる人材の育成・確保のため、地域ケアプラザを会場にボランティアの発掘および活動者のスキルアップを目的とした、「ガイドボランティア養成講座」を開催しました。

また、ガイドボランティア活動者同士のつながり、フォローアップを目的に「ガイドボランティア講座・交流会」を開催しました。

月日・場所	内容	参加人数
11月9日(水) 藤棚地域ケアプラザ	「障がい理解を深めよう ガイドボランティア講座」 ①知的障害・発達障害児のお子さんの理解と関わり 講師：佐藤克也 氏（横浜市中部地域療育センター） ②保護者の方へのインタビュー ゲスト：保護者2名(西区訓練会まつぼっくり会)	17名
1月30日(月) 西区福祉保健活動拠点 フクシア	「ガイドボランティア講座・交流会」 ①障がいがある方との関わり方 講師：山西 知子 氏(神奈川県立保土ヶ谷養護学校) ②ガイドボランティア交流会	8名



## VII 福祉情報発信機能の充実

### 1 広報紙の発行・ホームページの活用

#### (1) 広報紙「もくせい」の発行

区社協のPRや地域の福祉活動の紹介、ボランティア関係情報の提供を通じて、区民に福祉への理解を深めてもらうことを目的としてタウンニュース紙面に掲載し、年2回発行しました。

##### 【配布方法】

- 1) 主要新聞7紙折り込みにて各戸へお届け
- 2) タウンニュース社より西区内施設等に配布・配架
- 3) 本会より西区社協会員、区内施設等に配布・配架依頼
- 4) 本会より賛助会員、善意銀行寄付者・団体に配布 \*No.85号のみ



発行月	内容	発行部数
8月 (第84号)	○社会福祉協議会・事業紹介 ○社協からのお知らせ(各種講座・イベント情報等) ○その他: 令和3年度事業報告・決算等開示情報の案内	41,200部



3月 (第85号)	○地区社協の活動紹介 ○社協からのお知らせ(助成金案内) ○その他:賛助会員・善意銀行、赤い羽根共同募金のお礼	40,900部
--------------	---	---------

(2) ホームページ等の活用

区社協PRやボランティア講座等の周知などホームページを随時更新しました。

西区社協ホームページ( <a href="http://www.yoko-nishishakyo.jp/">http://www.yoko-nishishakyo.jp/</a> )	
R4年度更新回数	54回
参考) R3年度更新回数	61回

## VIII 西区地域福祉保健計画の推進 (重点項目)

### 1 第4期西区地域福祉保健計画の推進

平成22年度より「西区社協地域福祉活動計画」と「西区地域福祉保健計画」は一体的に策定しています。

令和4年度は「第4期西区地域福祉保健計画(にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン (略称 にこまちプラン))」が完成、フォーラムにて地区別計画をお披露目し、地区支援チームの一員として、区役所・地域ケアプラザとともに計画推進の支援をしました。また、会員のネットワークを活かして区全体計画の推進を図りました。

(1) にこまち助成金の配分 (再掲)

横浜市に寄付された約1億円を財源とし平成22年に設置された「にこまち基金」事業として、にこまちプラン(西区地域福祉保健計画)を推進していく活動を支援するため、つぎの団体へ助成しました。

配分については、にこまち助成金審査委員会にて審議し決定しています。

(① 申請金額が5万円以下のもの(会長決裁で決定) ②申請金額が5万円を超えるもの(審査委員会))

申請区分	団体数	助成金額	
A区分 (まちづくり)	8団体	<申請金額5万円以下>:	2団体 96,000円
		<申請金額5万円を超える>:	6団体 1,183,000円
B区分 (サービスづくり)	4団体	<申請金額5万円以下>:	— —
		<申請金額5万円を超える>:	4団体 1,148,000円
C区分 (人づくり)	1団体	<申請金額5万円以下>:	— —
		<申請金額5万円を超える>:	1団体 189,000円
合計	13団体	2,616,000円	

(詳細は 別表4を参照)

(2) にこまちプラン推進のための事業展開

高齢者支援、障害児者支援、子育て支援などの「にこまちプラン全体計画」にかかる課題解決に向けて、具体的な取組を行いました。

【各種講座】

「ハマのオヤジゼミナール」の開催

退職後またはこれから定年を迎える男性などを対象に、地域での仲間づくりやボランティア活動へつながるきっかけづくりとして講座を行いました。

月日・場所	内容	参加人数
6月3日(金) 6月10日(金) 7月8日(金) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	「スマホサポーター養成講座」 講師:京セラ株式会社 ・教えるときのポイント ・よくある質問 ・フィールドワーク ・情報交換 他 現場実習を地域サロン等で19回実施	19名

### 【西区社協各種分科会】

計画推進に向け、分科会ごとに取組を検討・実施しました。また、分科会の枠を越えて、全分科会参加型の研修会を開催し、第4期西区地域福祉保健計画を学び合い、各分科会の取組を共有しました。

#### ① 全分科会参加型研修会

月日・場所	内容	参加人数
11月17日(木) 福祉保健活動拠点 「フクシア」	【テーマ】会員間のネットワークを活かして、西区地域福祉保健計画 (にこまちプラン)推進の協働について考える 【内容】講義「わたしにできること」 グループワーク～ワールドカフェ風～ 「分科会の取組を知って、連携で可能性を広げよう」 講師: 西尾 敦史 氏 (愛知東邦大学 教授)	53名

#### ② 各分科会での計画推進

本会では従来から多様な主体が集まる会員組織として、選択制の課題別分科会を実施し、社会福祉施設や地域活動団体等、分野や立場を超えた様々な課題等の検討と活動の実践を行ってきました。

第4期西区地域福祉保健計画に沿って分科会ごとにテーマ設定を行い、取組を行いました。

(P29～ 法人運営を参照)

#### (3) にこまち講座の開催(区との共催)

西区地域福祉保健計画(にこまちプラン)の推進に向け、「コロナ禍でも工夫して取り組む地域活動」についての理解啓発を趣旨とした講座を実施しました。(再掲)

月日・場所	内容	参加人数
10月24日(月) 区役所	【講演会】 「コロナ禍から考えるこれからの地域活動」 ～どんな時代でもわたしもあなたも 安心して生活できる地域づくり～ 講師: 龍村 敦子 氏 (逗子市山の根自治会会長)	50名

#### (4) にこまちフォーラムの開催

新型コロナウイルスの影響により策定が遅れていた、第4期西区地域福祉保健計画(にこまちプラン)の完成お披露目と取組みの推進に向けて、西区役所・地域ケアプラザと共催で開催しました。

月日・場所	内容	参加人数
7月28日(木) 横浜市健康福祉 総合センター	【テーマ】「みんなで紡ぐ まちの未来図」 ～はじめよう 今日からわたしにできること～ 【内容】にこまちプラン紹介動画上映・講師講評 講師：西尾 敦史 氏（愛知東邦大学 教授）	83名

## 2 地区支援チームへの参画

区役所・地域ケアプラザ・区社協が地区支援チームとして協働し、チームでの打合せや各地区のにこまちプラン地区別計画の推進取組事業や策定にかかる検討に対しての支援を行いました。

## IX 横浜市西区福祉保健活動拠点「フクシア」の運営

### 1 拠点の管理・運営

指定管理者として、「地域における市民の自主的な福祉保健活動のための場」として多くの方に快適に利用いただけるよう運営を行いました。

#### (1) 登録状況

##### ① 利用登録団体 251団体

ボランティア・市民活動団体	障害児者等当事者団体	その他 (地域団体、福祉保健職域団体)
104団体	51団体	96団体

\*メールボックス使用団体：24団体（24個中）

\*ロッカー使用団体：55団体（54個中）

#### (2) 利用状況

部屋名	利用件数・利用率				比較増減
	R4年度		R3年度		
団体交流室	785件	61.2%	663件	51.5%	122
多目的研修室	777件	76.2%	653件	62.4%	124
点字製作室	438件	42.9%	248件	23.8%	190
録音室	111件	10.8%	133件	12.8%	△22
対面朗読室・編集室	519件	50.9%	366件	35.2%	153
全体	2,630件	48.4%	2,063件	37.1%	567

#### (3) 利用調整会議の開催

利用登録団体の情報交換や、利用にあたっての注意事項の伝達を目的として開催しました。避難経路図をもとに災害時の対応について利用登録団体と共有をすることができました。

月日・場所	内容	参加者数
2月21日(火) 西区福祉保健活動拠点 フクシア	・事務連絡(拠点利用について、避難経路確認等) ・登録団体の情報交換 ・ロッカー・メールボックスの抽選	23団体 27名

(4) ご意見箱の設置

団体交流室に市社協のシステムである「ご意見箱」を設置しました。いただいたご意見は運営改善に反映しています。  
ご意見箱への意見 R4 年度 : 0 件

(5) 個別専門相談「よこはま LGBT 相談」の共催

横浜市市民局人権課及び特定非営利活動法人 SHIP と連携した相談会を定期的にも実施、性的少数者支援を行いました。  
相談日: 毎月1回(月曜日夜間)

(6) ひとり親世帯対象「学習支援事業」の共催

横浜市社会福祉協議会の「ヨコ寄付」推進事業と連携し、ひとり親世帯の高校生を対象とした高等教育進学に向けた学習支援を行いました。 実施日: 毎週1回(木曜日夜間)

2 ボランティア等の地域福祉保健活動に関する相談及び育成

(1) 地域福祉保健活動に関する相談および育成

福祉保健活動拠点の利用団体に対して、ボランティアに関する相談(活動先の紹介、ボランティア保険の案内など)やボランティア講座の案内、助成金制度の案内等を通じて活動の発展・啓発を図りました。

また、フードドライブや善意銀行への寄付物品について、活動の一助としてもらうため、必要とする団体に適宜アナウンス・配分しました。

(2) 社会福祉功労者表彰(永年勤続者表彰)

区内で地域福祉活動やボランティア活動、福祉施設や事業所等で勤務する職員(常勤及び非常勤職員)で功労のあった方に対し、表彰式典を開催し、表彰状・記念品の贈呈を行いました。

月日・場所	内容	人数
2月4日(土) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	受賞者・地域福祉活動功労者 個人: 40名 団体: 4団体 金品寄付 1団体 永年勤続者 常勤: 11名 非常勤: 19名	—

X 法人運営 (重点項目)

1 事業推進体制の充実

(1) 会員

① 正会員

社会福祉施設	34
民生委員児童委員	125
地区社会福祉協議会	6
地区連合自治会・町内会	6
自治会町内会	92
障害者団体等当事者団体	13
ボランティア・市民活動団体	17

② 賛助会員

法人・団体	65
個人	88
賛助会員合計	153
賛助会費合計②	法人・団体 490,500円 個人 220,000円 = 710,500円

社会福祉関係団体	19
行政機関	4
学識経験者	1
正会員合計	317
正会員会費合計①	1,041,000円

会費合計	① + ② 1,751,500円
------	------------------

② 会員の拡充

区社協の持つネットワークを広げ、地域における活動支援をより積極的に進めるため、会員拡充を図りました。

(2) 部会・分科会・委員会

会員同士の交流や課題検討、助成金審査等のため、各種会議を開催しました。

① 分科会

【地区社協分科会】

地区社協会長・副会長、事務局長等、地区社協役員の方が広く出席し、地区社協間の意見交換・課題検討を行いました。(年8回開催)

月日	主な議題	結果	参加人数
4月28日(木)	・地区社協助成金 令和3年度報告・令和4年度申請について ・小地域活動応援金について ・令和3年度賛助会費実績について 他	全て承認された	25名
6月23日(木)	・令和3年度区社協事業報告について ・課題別分科会の取組みについて ・地区社協助成金申請状況について 他		25名
7月28日(木)	・各種研修、講座等の依頼・案内について ・令和4年度共同募金運動について ・高齢者見守り活動にかかる広報物について 他 同日 午後より【にこまちフォーラム】		20名
9月22日(木)	・「みんなの相談窓口」取組み紹介 ・「第4期にこまちプラン 区全体計画」について ・共同募金運動について ・課題別分科会報告について ・にこまちフォーラム報告／各種講座の周知 他		28名
10月27日(木)	・チームにしまるの取組みについて ・ミニ勉強会:「西区アクションプランと西区版 ACP ガイド」 ・令和4年度 年末たすけあい助成金について ・にこまち講座報告 ・社会福祉実習生の発表 他		31名
11月24日(木)	・地区社協助成金について ・ミニ勉強会:「令和3地区社協全体会より 他区の取組事例」 ・区社協会員全体研修 報告 他		24名

1月26日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度地区社協分科会 予定について</li> <li>・地区社協助成金について</li> <li>・地区社協広報の工夫について 他</li> </ul>		23名
3月9日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事・各種委員等候補者の推薦について</li> <li>・次年度西区社協事業計画について</li> <li>・地区社協助成金申請・報告について</li> <li>・区社協会員全体研修総括 報告</li> <li>・社会福祉功労者表彰式 報告</li> <li>・地区社協のネットワークについて情報交換 他</li> </ul>		23名

※場所は、すべて西区福祉保健活動拠点「フクシア」です。

【高齢者福祉関係分科会】

◎第4期西区地域福祉保健計画における令和4年度の取組テーマ

《見守り・つながり》

それぞれの取組を理解し合い、活動の状況や困りごとなどを共有・検討していく

月日	議 題	結果	参加人数
6月2日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度西区社会福祉協議会事業計画について</li> <li>・第4期にこまちプラン策定報告について</li> <li>・令和4年度高齢者福祉関係分科会の取組について</li> <li>・意見交換 令和4年度取組テーマ「見守りについてⅠ」 ～何のためのどんな見守りが必要なのか～</li> <li>・情報交換</li> </ul>	全て承認された	26名
9月7日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4期西区地域福祉保健計画推進に向けた分科会の取組について</li> <li>・意見交換 「見守りについてⅡ・課題解決に向けて①」 原因追及～現状はなぜ理想の姿と違うのか～</li> <li>・情報交換</li> </ul>		28名
2月24日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事・各種委員の推薦について</li> <li>・会員向け全体研修報告</li> <li>・意見交換 「見守りについてⅡ・課題解決に向けて②」 課題解決～どんな解決策があるのか～</li> <li>・次年度の取り組みについて</li> <li>・情報交換</li> </ul>		24名

※場所はすべて西区福祉保健活動拠点「フクシア」です。

【障害福祉関係分科会】

◎第4期西区地域福祉保健計画における令和4年度の取組テーマ

《つながる⇔理解する》

その人の特性や個性を理解し、地域で生活する住民としてつながる機会・関わりの機会を広げる

月日	議 題	結果	参加人数
----	-----	----	------

5月26日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度西区社会福祉協議会事業計画について</li> <li>・令和3年度分科会アンケート報告について</li> <li>・第4期にこまちプラン策定報告について</li> <li>・意見交換</li> </ul>	全て承認された	24名
9月5日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4期西区地域福祉保健計画推進に向けた分科会の取組について</li> <li>・「生命のことづけ」上映</li> <li>・講話: 障がい者自立センターかまいし 藤原 伸哉氏 生活介護事業所 &amp;COCO 利用者</li> </ul>		23名
2月14日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事・各種委員の推薦について</li> <li>・会員向け全体研修報告</li> <li>・情報交換・意見交換</li> <li>・次年度の取り組みについて</li> </ul>		20名

※場所はすべて西区福祉保健活動拠点「フクシア」です。

#### 【児童福祉関係分科会】

◎第4期西区地域福祉保健計画における令和4年度の取組テーマ

《つながりづくり》

事例を通して、各団体の役割やできることを知り、お互いの理解を深める

月日	議 題	結果	参加人数
6月3日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4期にこまちプラン策定報告について</li> <li>・令和3年度分科会アンケート報告について</li> <li>・ミニ講座～お互いの活動を知ろう！～ 「児童家庭支援センターらいく」 関 茂樹氏</li> <li>・情報交換・意見交換 他</li> </ul>	全て承認された	25名
9月6日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4期地域福祉保健計画推進に向けた分科会の取組について</li> <li>・ミニ講座～お互いの活動を知ろう！～ 「レスパイト・ケアサービス萌」 関水 好子氏 「西区地域子育て支援拠点スマイル・ポート」 鳴神 美穂子氏 「移動情報センター」 本会職員</li> <li>・情報交換・意見交換 他</li> </ul>		24名
2月21日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事・各種委員の推薦について</li> <li>・会員向け全体研修報告</li> <li>・ミニ講座～お互いの活動を知ろう！～ 「児童発達支援事業所おれんじハウス西横浜教室」 福島 美彩紀氏 「小規模保育園おれんじハウス西戸部保育園」 山下 美未氏 「にこにこ広場～地域活動について～」 近藤 裕子氏</li> <li>・情報交換・意見交換 他</li> </ul>		25名

※場所はすべて西区福祉保健活動拠点「フクシア」です。

【ボランティア・市民活動分科会】

◎第4期西区地域福祉保健計画における令和4年度の取組テーマ

《仲間づくり・つながりづくり》

各団体の取組や工夫を共有し、活動の礎となる担い手の拡充を図る

月日	議 題	結果	参加人数
5月30日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度西区社会福祉協議会事業計画について</li> <li>・第4期にこまちプラン策定報告について</li> <li>・令和3年度実施アンケート報告について</li> <li>・意見交換・情報共有</li> <li>・市福祉ボランティア・市民活動部会本年度分科会報告</li> </ul>	全て承認された	23名
8月22日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4期地域福祉保健計画推進に向けた分科会の取組について</li> <li>・講話「ブリリアみらいコミュニティの取組について」 松本 道雄氏</li> <li>・意見交換「仲間づくり つながりづくり」について</li> <li>・情報共有</li> <li>・市福祉ボランティア・市民活動部会本年度分科会報告</li> </ul>		22名
2月20日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事・各種委員の推薦について</li> <li>・会員向け全体研修報告</li> <li>・意見交換「仲間づくり つながりづくり」</li> <li>・情報共有</li> <li>・次年度の取組について</li> </ul>		19名

※場所をすべて西区福祉保健活動拠点「フクシア」です。

② 委員会

【社会福祉功労者表彰審査会】

月日	議題	結果	参加人数
11月24日(木)	第41回 西区社会福祉功労者被推薦者の審査について	全て承認された	8名

【助成金等審査委員会】

月日	議 題	結果	参加人数
5月16日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度 西区社協ふれあい助成金配分結果について</li> <li>・令和3年度 西区社協会員助成金配分結果</li> <li>・令和4年度 西区社協ふれあい助成金交付審査について</li> <li>・令和4年度 西区社協会員助成金交付審査について</li> </ul>	全て承認された	8名
11月17日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度 第1回助成金等審査委員会 報告について</li> <li>・令和4年度 年末たすけあい募金助成の審査について</li> <li>・令和4年度 年末たすけあい募金 地区社協助成について</li> </ul>		7名



【にこまち助成金審査委員会】

月日	議 題	結果	参加人数
6月23日(木)	・令和3年度の助成実績について ・第4期「にこまちプラン」の策定報告 ・令和4年度にこまち助成金 第2回受付分の審査について ヒアリング参加団体(5万円を超える申請):4団体	全て承認 された	審査委員 5名 申請団体 4団体6名
11月4日(金)	・令和4年度第3回受付分の審査について ヒアリング参加団体(5万円を超える申請):2団体 ・令和5年度 にこまち助成金について 実施要領の改訂、スケジュール他 ・第4期にこまちプラン進捗状況報告 ・横浜市健康福祉局によるアンケート調査協力報告		審査委員 7名 申請団体 2団体3名
3月20日(月)	・令和4年度配分事業の報告 ・令和5年度第1回受付分の審査について ヒアリング参加団体(5万円を超える申請):3団体 令和5年度のいこまち助成金審査委員会について		審査委員 6名 申請団体 3団体3名

【ボランティアセンター運営委員会】

月日	議 題	結果	人数
5月30日(月)	・令和3年度 ボランティアセンター事業報告について ・令和3年度 善意銀行の寄託・配分報告について	全て承認 された	7名
10月31日(月)	・令和4年度上半期 ボランティアセンター事業報告について ・令和4年度上半期 善意銀行の寄託・配分報告について ・令和4年度下半期 ボランティアセンター事業計画について		6名
2月20日(月)	・令和5年度ボランティアセンター事業計画(案)について ・スマホサポーター養成講座報告 ・災害ボランティアセンター運営支援活動報告		7名

【評議員選任・解任委員会】

月日	議 題	結果	開催方法
第1回 6月13日(月)	評議員候補者(1名)の選任について	全て承認 された	書面 開催
第2回 10月31日(月)	評議員候補者(1名)の選任について		書面 開催

2 理事会・評議員会等

(1) 理事会・評議員会・監事会

## ① 理事会

※すべての議題等について承認、または確認されました。

月 日	議 題	参加人数
第1回 6月8日(水)	1. 令和3年度事業報告並びに決算(案)について 2. 監事監査報告について 3. 監事候補者の評議員会への推薦について 4. 評議員選任 解任委員会の招集 並びに評議員選任候補者の推薦について 5. 評議員選任 解任委員の選任について 6. 定時評議員会の招集並びに議題について 7. 顧問について	理事10名 監事 2名
第2回 10月26日(水)	1. 令和4年度補正予算案について 2. 評議員選任 解任委員会の招集 並びに評議員選任候補者の推薦について 3. 評議員会の招集並びに議題について	理事 9名 監事 3名
第3回 3月8日(水)	1. 令和4年度補正予算案について 2. 本会の運営体制の見直しについて 3. 基金の取扱いについて 4. 令和5年度事業計画案並びに予算案について 5. 本会役員等賠償責任保険契約について 6. 保有個人データの開示等の請求に関する規程の一部改正について 7. 評議員会の招集並びに議題について	理事10名 監事 3名

※開催場所は全て西区福祉保健活動拠点「フクシア」です。

## ② 評議員会

※すべての議題等について承認、または確認されました。

月 日	議 題	参加人数
第1回 6月24日(金)	1. 令和3年度事業報告並びに決算(案)について 2. 監事監査報告について 3. 監事の選任について 4. 定款の改正について 5. 経理規程の改正について	評議員17名 監事 2名
第2回 11月11日(金)	1. 令和4年度補正予算案について	評議員16名 監事 2名
第3回 3月22日(水)	1. 令和4年度補正予算案について 2. 令和5年度事業計画案並びに予算案について	評議員18名 監事 3名

※開催場所は全て西区福祉保健活動拠点「フクシア」です。

## ③ 監事会

※すべての議題等について承認、または確認されました。

月日・場所	内 容	参加人数
5月27日(金) 西区福祉保健活動 拠点「フクシア」	令和3年度事業報告・決算(案)について	監事 2名

### 3 適切な法人運営

#### (1) 適切な法人運営

##### ①個人情報の適切な管理

「個人情報保護法」と「個人情報の保護に関する規程」に則り、適切な個人情報の管理を行いました。

##### ②情報公開

「社会福祉法」及び本会「情報公開に関する規程」に則り、適切な情報公開に努めています。

令和4年度 情報公開請求：0件

##### ③苦情受付

「苦情解決規程」に則り、受付体制を整えています。 令和4年度 受付件数：0件

#### (2) 職員の資質向上等

人材育成計画に基づき、法人内及び外部機関の研修等へ積極的に参加し、能力・資質の向上に努めました。

#### (3) 区社協活動財源の確保

##### ①区社協事業の見直し

持続可能な組織運営と財政の健全化に向け、収入に見合った事業の見直しを行うとともに、事業費・事務費の経費削減の徹底を図りました。

##### ②区社協活動財源の確保

会費・賛助会費・共同募金・年末たすけあい募金等の自主財源確保に努めるとともに、地域の福祉活動を支援する財源確保に努めました。

## X I 福祉関係団体への運営協力・支援

次の福祉関係団体と連携及びサポートを行いました。

神奈川県共同募金会横浜市西区支会	日本赤十字社横浜市西区地区委員会
西保護司会	西区更生保護女性会
西区遺族会	